

暴力とSEXが極度にエスカレートした未来社会へ
無軌道の限りをつくす若者たちの矯正手段として
そこに無気味な 人体実験がまちかまえていたノ



LOCKWORK
ORANGE



スタンリー・キューブリック
プロダクション

「時計じかけのオレンジ」

主演 マルコム・マクドウェル
パトリック・マギー
アドリエンヌ・コリ
ミリアム・カーリン

脚本 スタンリー・キューブリック

原作 アンソニー・バージェス

製作・監督 スタンリー・キューブリック

製作総指揮 マックス・シラープ & シー・リトビノフ

オリジナル・サウンド・トラック (ワーナー・ブラザーズ・レコード)



スタンリー・キューブリック作品

時計じかけの オレンジ

ワーナー・ブラザーズ映画
From Warner Bros. & Warner Communications Company

11月17日(出)よロード
日(出)リショウ

銀座東急 (571) 3411

東急レックス (407) 7019

新宿 ロマン劇場 (351) 2941

★特別御鑑賞券 ★ ¥500

上映時間 日・祝・平日共 11:00 1:35 4:10 6:45 ◆東急レックスは月曜のみ 1:35の回で終

時計じかけのオレンジ



〈スタッフ〉
 監督……スタンリー・キューブリック
 製作・脚本……スタンリー・キューブリック
 原作……アンソニー・バージェス
 撮影……ジョン・オルコット
 編集……ビル・パトラー
 電子音楽作曲・演奏……ウォルター・カロス

〈キャスト〉
 アレックス……マルコム・マクドウェル
 アレクサンダー氏……パトリック・マギー
 アレクサンダー夫人……アドリエヌ・コリ
 デルトイド……オーブリー・モリス
 ジョージ……ジェームス・マーカー



■解説
 「突撃」「スバルタカス」など一作ごとに破格な題材と取りくんで注目を集めている鬼才スタンリー・キューブリック監督が、シネマ芸術の最高峰といわれ轟然たる反響を呼んで全世界的に大ヒットを放った、「2001年宇宙の旅」いらい三年ぶりに発表したのが、この「時計じかけのオレンジ」である。
 この作品でも、レープ(強姦)とウルトラ暴力とベートーベンだけが生きがいの若者のアドベンチャー、という驚くべき題材に取りくんで独特のキューブリックの世界をくりひろげている。
 イギリスの作家アンソニー・バージェスの同名小説に基づいて、キューブリック自身が脚本を執筆、製作・監督にあたっており、その痛烈な映像芸術が、全世界に華々しい話題をまいた映画史上空前の問題作である。
 主人公の少年アレックスを演じているのが、「if もしも!」の主演で一躍脚光を浴びたマルコム・マクドウェル。ほかにも「召使」「クロムウェル」「マラー/サド」などにも出演しているアイルランド生れの名優パトリック・マギー、さらにアドリエヌ・コリ、ミリアム・カリンなどイギリスの名女優が熱演している。
 (上映時間 2時間15分)

■ストーリー
 いまから十数年後、一九八四年の未来社会秩序は乱れ、治安状態は悪化し、性道徳は廃の極にあつた。そして町には夜な夜な少年ギャングの群が横行していた。
 これは、そんな少年のひとり、強姦と超暴力とベートーベンだけに生きがいを求める若者の物語……
 15才の少年アレックス(マルコム・マクドウェル)を首領とする4人の非行少年グループは、その夜もなじみの。ミルク・バー。に集まって、夜の町に出かけていった。
 やがて、ひとりの酔っぱらいの老人を取りかこんだアレックス一味は、ステッキをふりまわし、したい放題の暴力をふるって、無抵抗の老人を半死半生の目にあわせた。
 さらに荒れ果てたホテルに乗りこんで、ひとりの女性を暴行しようとしている仇敵のグループと大乱闘のあげく、パトカーのサイレンの響きをきいて、敵も味方も四散した。
 そのあと、血気さかんなアレックス一味はスポーツカーを駆って郊外の一軒家を襲った。その邸宅には小説家パトリック・マギーと若い奥さんのふたりが住んでいたが、凄まじい乱暴狼藉の果て、アレックスは小説家の目の前で鼻歌まじりに奥さんを犯すのであつた。

そんな或る日アレックスは独り暮しの婦人を殺し、仲間の実切りで警察に逮捕されて、刑務所に送られた。アレックスは模範囚となつた。そして、政府が着手した人格矯正療法の実験材料第一号となつた。それは犯罪者に特殊な覚醒剤を注射して衝動的な映画を見せ、生理的に暴力やセックスが耐えられないような体質に改造してしまふものであつた。連日わたる治療の結果、実験は成功。アレックスはおとなしい無害な人間として釈放された。
 親から見放され町をさまよっているとき、ふたりの警官に捕まつた。なんと昔の仲間が警官になつていた。ふたりに袋叩きにあつた無力のアレックスは、一軒の田舎家にあつたのだが、それはあの小説家の屋敷であつた。反政府運動のリーダーである小説家は、アレックスを利用して私怨をはらすと共に政府打倒を目ざした。そのためアレックスは自殺をはかるが辛うじて一命をとりとめた。小説家はアレックスを元どりの人間に戻すと発表。アレックスはセックスと暴力とベートーベンに再び喜びを見出し、「オレンジは完全に治つた」と叫ぶのだつた。(スクリーンより)